

## ライフサポートミドルステージ5カ年プラン

2012. 3. 1

こなんSSNの開設以来15年が経とうとしている。法人の事務所も4カ所（こなんSSN、シエスタ、凧日和、DearHouse）になり、運営も次第に安定し、状況としても中間期に入ってきたようにも見える。当然この年月は、利用者にとっては高齢化を伴い老後の生活支援へのニーズも高まり、その対応も求められている。

また、障害者自立支援法は、平成25年8月に廃止され、新たな「総合福祉法（仮称）」に変わっていく予定になっている。しかし、国としては障害者自立支援法の中身はあまり変えず、名称のみ変更していくような動きも見られ、予想外の展開になる可能性もある。ただこの4月から障害者自立支援法の改正が行われ報酬額の改正や相談支援事業の拡充などの動きはある。

このように精神保健福祉を取り巻く状況も非常に不安定で先の見えない状況にはあるが、障害者自立支援法以来見えにくくなった精神保健福祉のサービスを、今あるサービスをもとに「小さな循環」を形作りながら、新たなるサービスを少しずつ増やす関わりも必要となる。

また、今後は福祉サービスの主体者である利用者が自ら行動し、サービスを求め作り出していくことも必要となり、それに関わる大胆なサポート体制の整備も大きな課題となっている。

こうした問題や課題に対応するためこなんSSNの中間期の活動および整備目標として次のものを進めていく。

1. こなんSSNの安全な活動の保証と新たなニーズに応えるため早急な移転
2. 生活の場を拡充させるため、グループホーム・ケアホームの増設
3. 法人4事業所を中心にした生活支援の体制を整備していくため相談支援事業所を開設
4. 高齢精神障害者の在宅生活を支援するため、介護保険になる老人デイサービス事業の展開
5. 利用者の主体的な活動が県内に広がっていくようセルフヘルプグループの育成
6. 法人施設としての障害者雇用の対応と、新たな就労形態の検討